



学校だより

# はくれい

白山市立白嶺小学校

白山市立白嶺中学校

第7号

令和6年9月10日

## 令和6年度全国学力・学習状況調査結果及び県基礎学力調査等の結果より

4月、小学4、6年生及び中学3年生対象に実施された各種調査の結果が公表されました。本校でも、今後の全学年の児童生徒に対する指導に生かして参ります。



### 小学校

【国語】:問題文をよく読み、条件に合わせて文章で答える問題の正答率が低かった。

→どの学年でも、条件に沿って説明したい事柄を簡潔に話したり書いたりする指導を重ねます。

【算数】:計算のしかたは知っているが、文章問題でその知識を応用する力が弱い。

→日常の場面に対応させて理解できるように、解き方を式や言葉で表す指導を繰り返します。

:数量の関係を式で表したり、式を読み取ったりすることが苦手な児童がやや多い。

→互いの考え方を説明し合う場を取り入れ、多様な考えに触れながら式で表す力を伸ばします。

【全教科共通】:級友との話し合いで、考えを深めたり、広げたりできている児童がやや少ない。

→根拠を明確にさせるための問い返しを行い、理由を説明する力を鍛えます。

→視点や条件を設けて書く、資料内容を生かして書く等、目的のある書く学習を取り入れます。

→複数の資料を関連させて考え、読み取ったことから解釈したことを説明する場面を増やします。

【家庭学習】:家庭においても自ら計画を立てて勉強をしていると答える児童がやや少なかった。

→どの子もわかる授業づくりを心がけ、苦手分野でも主体的に取り組む自学の指導を行います。

### 中学校

【国語】:考えが伝わるように文章を書けるが、意見と根拠などの関係を理解する問題の正答率が低い。

→今後も「かんガエル」の添削を継続し、文章を読み取り、要約して表現する練習を続けます。

【数学】:回転移動や確率の問題は正答率が高いが、数学的説明や筋道を立てた証明の力が弱い。

→説明や証明の仕方を分かった生徒から分からない生徒に教える等、高め合う授業を継続します。

【社会】:基本的な歴史的事象は理解できているが、複数の資料から考察し、文章で表現する力が低い。

→必要な言葉を用いて内容を文章にまとめる機会を増やし、添削しながら力を伸ばしていきます。

【理科】:自ら予想し、計画的に学びを進める生徒が多いが、実験後の適切な操作の理解が浅い。

→日常生活で抱く疑問から学ぶ意欲へつなげ、実験、考察し、まとめ、定着につなげていきます。

【英語】:聞き取り問題は得意だが、知識を活用し場面や状況に応じて正しく英語で書く力は弱い。

→英語による発問等を増やし、本時で学んだ構文を書きながら確実に定着させる指導を続けます。

《質問紙調査より》

【教育相談】:先生等に相談しやすいと答える生徒は多いが、学校が楽しいと答える生徒は少ない。

→少人数の良さを生かし温かく相談しやすい雰囲気を保ちながら、楽しさを実感できる場を作ります。

【スクリーンタイムと家庭学習時間】:ネットゲームに時間を浪費し、家庭学習が不足している生徒が極めて多い。

→家庭でも主体的に学習に取り組めるよう、自ら改善策を考え、実践できるよう指導していきます。

【ICT 機器】:機器を楽しんで利用しているが、それらを用いて学習した内容の理解は十分とは言えない。

→まとめの段階では文章表現させる等、生徒が十分理解できるような授業の組み立てを工夫します。

【授業全般と総合的な学習について】:主体的に学ぶが、不明な点を見直し、次につなげる力が弱い。

→何をどう探究するか課題設定の仕方や調査方法、まとめ方、発表方法等のスキルを一層磨きます。



☆各種調査の結果を踏まえ、指導を工夫していきます

